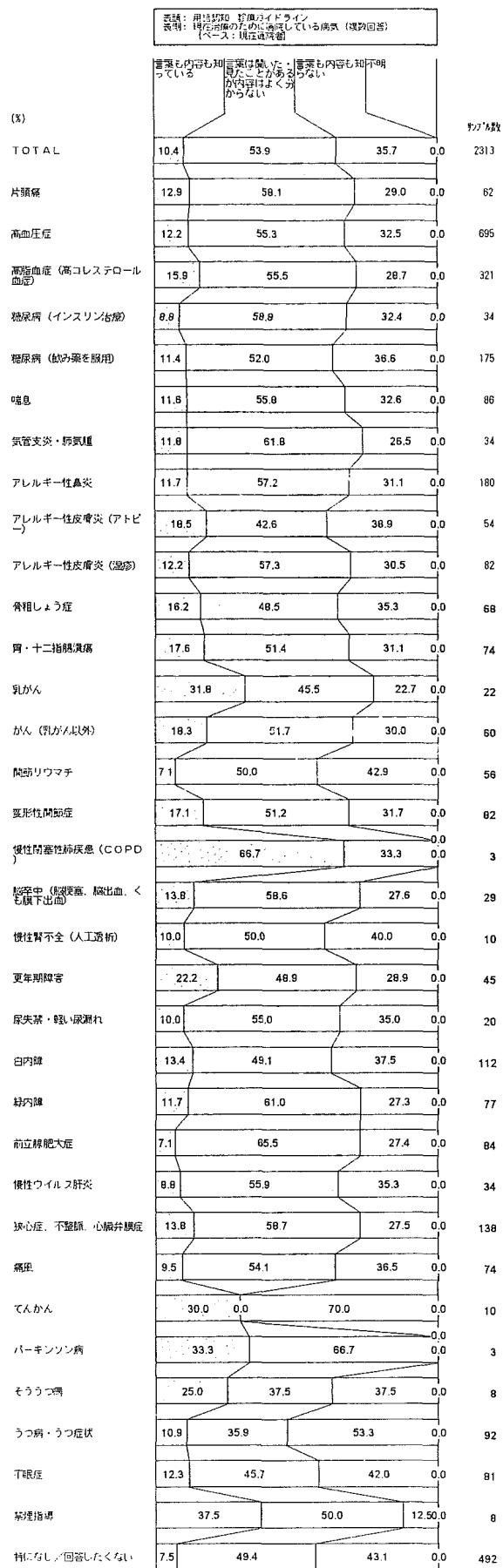


(8) 現在通院の病気（通院者ベース）



Ⅲ 分担研究報告書

「臨床現場でのエビデンス適用・不適用決定の過程と結果に関する調査研究」

研究要旨

(2) 乳癌検診の受診を妨げる強力な要因は、現在無症状であり自分は乳癌に罹患しないだろうという思い込みであることが明らかになった。今後、乳癌の知識と早期発見の重要性を広く普及することが検診受診率の向上につながると推測できた。

A. 目的

(1) 近年、誰にとっても医療情報の入手が容易になった。最近では患者向け診療ガイドラインの作成も進んでいる。一般社会人向けの EBM 講習会なども考慮されている。このような医療情報の普及活動を考えた時、一般人の EBM 的思考や医療情報を理解・利用する能力を評価することが重要である。今回、一般人が医療情報を適切に利用する能力を測定するためのツールを開発することを目指した。

(2) 乳癌検診はエビデンスとして有効性は確立しているが、受診率は低い。このようにエビデンスが実際の社会に適応されにくい原因を検討することが重要である。今回は乳癌検診の受診者の立場からみた受診の阻害・促進要因について研究した。

B. 方法

(1) 医療情報の適切な理解や結果の解釈に関わる質問項目を設定し、医療情報適正利用度質問票を作成した。このため医療技術の有効性評価において臨床研究や根拠を重視する態度を測定したり、効果の定量的表現に関わる理解を測定することを考えた。8項目からなる質問を設定した(添付資料)。また適切な医療消費態度を測定する質問 2 項目を設定した。このため、健康によいといわれて商品を購入し後悔した経験と、ダイエット効果を宣伝する枕を購入する可能性について質問した。これらの質問は、複数の医療従事者や、非医療従事者に依頼し質問内容の修正を行った。その後、統計調査会社を利用し、これに登録されている一般人パネルを対象にインターネット調査を行った。そして、医療情報適正利用度、適正な医療消費態度を求め、両者の関連を検討した。

(2) 乳癌検診受診を阻害または促進する要因を探索する目的で、聖路加国際病院と国立病院機構九州がんセンターの乳癌外来患者を対象に半構造化面接による質的調査を実施した。この質的調査で得た結果をふまえて 29 項目から成る記述回答式質問紙表を作成し、インターネットを利用した横断質問調査を実施した。対象者は 30 歳から 61 歳の男女 1,163 名だった。

C. 結果

(1) 6047 名から回答が得られた。年齢 49.8 才 $\pm$ 15.0 才(mean $\pm$ SD)、男性割合 46.2%であった。添付資料の質問項目 1-8 に対する正解率は次の通りである。

質問 1 : 53.7%

質問 2 : 29.1%

質問 3 : 12.8%

質問 4 : 61.4%

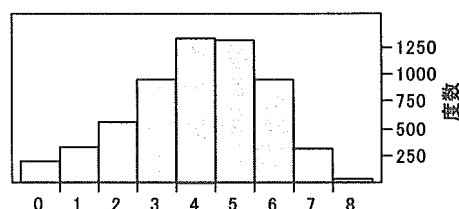
質問 5 : 46.4%

質問 6 : 79.7%

質問 7 : 75.2%

質問 8 : 48.6%

これらの得点を単純に加算して求めた医療情報適正利用度は 8 点満点であり、平均は 4.1 点 $\pm$ 1.7(mean $\pm$ SD)であった。



それぞれの質問の正誤と加算得点の関連は良好であった。健康によいといわれて商品を購入し後悔した経験があるものは 33.9%、ダイエット効果を宣伝する枕を購入する可能性があるもの 10.1%であった。医療情報適正利用度高得点者(=5 点)は、ダイエット効果を宣伝する枕を購入する可能性があるものは 8.6%だが、低得点者では 11.2% ($p=0.0007$)、オッズ比 0.74 (95%信頼区間 0.62-0.88) であった。この関係は年齢、性別をロジスティック回帰を用いて調整しても同様であった。一方、後悔した経験については、高得点群低得点群 32.6%、低得点群 35.0%、($p=0.06$)、オッズ比 0.90 と大きな差はみられなかった。

(2) 17 名の乳癌外来患者を対象に実施した質的調査で得た結果によると、回答者の実体験による検診受診の阻害因子は、自分とは無縁の疾患という思い込み、知識不足、多忙、医療への不信感、検査への羞恥や嫌悪、罹病への恐怖であり、促進因子は乳腺症の既往歴、乳癌の家族歴、家族の勧めだった。また、回答者が予想する受診の阻害因子は、検査の痛み、通知方法、費用、受

診時間であり、促進因子は、女性の医師と検査技師の担当、乳癌の発症率や経過や治療費用に関する知識の普及だった。

一般人を対象にした質問紙調査では男性 240 名、女性 303 名の合計 543 名から回答を得た（回収率 48.8%）。女性回答者のうち乳癌患者は 2.3%(N=7)、その他のがん患者は 9.6%(N=29)だった。

女性回答者の乳癌検診の受診状況は①一度も受診したことが無い 39.9%(N=121)、②受診したことはあるが最近 2 年間は受診していない 24.4%(N=74)、③2 年以内に受診したが毎年の受診はしていない 13.9%(N=42)、④毎年受診しているあるいは 1 年以内に受診した 21.8%(N=66)だった。

最近 2 年以内に乳癌検診を受診していない女性（N=149）を対象に調査した乳癌検診を受診しない主な理由（複数回答可）は回答が多い順に①現在乳癌あるいは乳房の症状が無いから 65.6%(N=126)、②受診が面倒だから 58.5%(N=114)、③身体に異常があればすぐに医療機関を受診できるから 54.4%(N=106)、④現在体の調子が悪いところが無いから 51.8%(N=101)、⑤男性医師や技師が診察を担当するのが嫌だから 44.1%(N=86)、⑥元来健康だから 42.6%(N=83)、⑦家族に乳癌にかかった人がいないから 37.9%(N=74)、⑧触診が嫌だから 31.8%(N=62)、⑨仕事が多忙で受診時間がとれなから 27.7%(N=54)、⑩費用がかかるから 24.6%(N=48)、⑪受診をするための手続きがわからないから 24.6%(N=48)、⑫検診がいつどこで実施されているか知らないから 23.6%(N=46)、⑬自分が乳癌にかかると思わないから 22.1%(N=43)、⑭乳癌検診で乳癌が見つかったと怖いから 21.0%(N=41)などであった。

2 年以内に乳癌検診を受診した女性（N=154）を対象に調査した乳癌検診を受診する主な理由（複数回答可）は回答が多い順に①乳癌にかかりたくない・早期発見したいから 82.4%(N=89)、②市民検診で実施されているから 56.5%(N=61)、③費用が安いから 39.8%(N=43)、④知人に乳癌にかかった人がいるから 28.7%(N=31)などであった。

全女性回答者(N=303)が乳癌検診に望む主な改善点（複数回答可）は回答が多い順に①女性の医師・担当技師が検診を担当し

ていることが受診前にわかっていること 60.4%(N=183)、②費用が今よりも安いこと 60.1%(N=182)、③女性の医師・検査技師が検診を担当すること 58.4%(N=177)、④丁寧な診察やプライバシーを保たれる環境での検診であること 51.8%(N=157)、⑤夕方や土曜日・日曜日でも受診できること 44.2%(N=134)、⑥個人宛に検診の通知がくること 40.9%(N=124)、⑦交通手段の便利な場所で受診できること 36.6%(N=111)、⑧視触診がなく機械のみの検診であること 24.1%(N=73)、⑨乳癌に関する知識を自分自身が知っていること 23.1%(N=70)、⑩会社が実施する健康診断に乳癌検診が含まれていること 20.1%(N=61)だった。

男性を対象にした調査では回答者のうち①配偶者がいるものは 72.4%(N=173)、②恋人や女性パートナーがいるものは 14.6%(N=35)、③母親がいるものは 74.1%(N=177)だった。

配偶者やパートナーや母親に乳癌検診を勧めていると回答した男性はそれぞれ①配偶者 43.9%(N=76)、②パートナー 21.2%(N=7)、③母親 18.8%(N=33)だった。乳癌検診を勧める主な理由は頻度が多い順に①乳癌は早期発見が大切だから 42.2%(N=73)、②その人の健康が大切だから 38.7%(N=67)、③検診は受診したほうがよいから 24.3%(N=32)だった。乳癌検診を勧めない主な理由は頻度が多い順に①本人の健康管理を本人自身に任せているから 51.4%(N=89)、②現在その人に症状が無いから 35.3%(N=61)、③何か症状があれば早めの受診を勧めるつもりだから 23.1%(N=40)、④その人は元来健康だから 15.6%(N=27)だった。

乳癌の発症率がどの程度であれば乳癌検診を勧めるか男性回答者に尋ねた質問には、53.8%(N=93)が 25 人に 1 人以上の確率であれば受診を勧めると回答し、50 人に 1 人以上の確率であれば受診を勧めると回答した男性は 45.1%(N=78)であった。発症率に関わらず受診を勧めないと回答した男性は 6.9%(N=12)、わからないと答えた男性は 20.8%(N=36)だった。

D. 考察

(1) 医療情報は、近年一般人にとってもみぢかなものになっている。これを正しく理解し適切に利用できる能力、いわばメデイカルリテラシーともいうべき能力が求められている。これは EBM の考え方の一般への普及とも言える。このような啓発的な活動の基盤として、一般人の医療情報の適切な利用能力を測定したり評価したりすることが必要である。海外では既にこのような試みが報告されてきた (Schwartz LM, et al. Can patients interpret health information? An assessment of the medical data interpretation test. Med Decis Making. 2005;25:290-300.)。今回、我が国でも使用できる評価ツールを作成することを試みた。8項目なる質問を作成し、加算得点を求めたが、これは各質問項目とよく関連した。また、適切な医療消費態度との関連も認められ、一定の妥当性はあるものと考えられた。また、医療情報を理解する能力が啓発活動の結果として向上すれば、医療消費行動はより適切になる可能性が考えられた。

(2) 質的調査の結果から、乳がん検診受診には外部からの半ば強制的な検診受診の勧め、家族の勧め、会社検診などが大変効果的であり、また、自分とは無縁の疾患であるという思い込みを取り除き、受診動機を向上させることが重要であることが示唆された。

一般女性を対象にした横断質問紙調査の結果からは、現在健康で無症状であるから、受診が面倒だから、症状が出れば医療機関を受診するから、男性医師や技師の診察が嫌だからなどの理由が乳癌検診を受診しない主な理由として挙げられた。無症状の時期にこそ早期乳癌を発見するために検診を受診する意義を今後広く普及する必要があることが明確になった。また、検診受診者の回答からは市民検診の利便性や自己負担不要が安いことなどが検診受診の積極性を支えていることがうかがえた。回答者の自由意見には市民検診でなければ受診しない、現在よりも自己負担費用が高ければ受診しないという回答もあり、今後、自己負担費用が少ない市民検診の一層の普及がのぞまれる。現行の乳癌検診に望む点は、女性回答者の 60%以上が女性医師や技師が検診を

担当しその事実が受診前にわかっていることと回答した。また、費用が安いこと、丁寧な診察とプライバシーを保たれる環境も半数以上の女性が望んでいた。

男性が配偶者やパートナーや母親に乳癌検診を勧めている割合は半数以下であることが、今回の横断質問紙調査からは明らかになった。ただし乳癌の発症率が 25 人に 1 人以上の確率であれば受診を勧めると回答した男性が半数以上であったことと、質的調査の結果では乳癌検診の受診動機に家族や夫の勧めが挙げられていたことから、今後、男性にも乳癌検診の重要性をアピールすることが検診受診率の向上に寄与する可能性が示唆された。

E. 結論

(1) 医療情報適正利用度測定質問票の開発を試みた。高得点者では適切な医療消費態度を示していた。このようなツールを利用した評価をもとに、一般人が医療情報を適切に利用をできることを志向した教育を行うことができる。医療情報をよく理解し適切に利用すれば、適切な医療消費活動と繋がる可能性がある。

(2) 検診受診の強い阻害因子は現在無症状であり、自分が乳癌に罹患するはずがないという思い込みであることが明らかになった。今後は乳癌の知識と早期発見の有効性を広く普及することで検診受診率を向上できると期待できる。

F. 研究発表

① 小林志津子、斉藤繭子、片岡明美、大野真司、中村清吾、福井次矢、小山弘、新保卓郎. 日本人女性の乳癌検診受診行動の促進要因と阻害要因の検討

第 15 回日本乳癌検診学会学術総会 シンポジウム「日本女性の乳癌を減少させることは可能か」 2005.11.4 京都

② 小林志津子、斉藤繭子、片岡明美、大野真司、中村清吾、福井次矢、小山弘、新保卓郎. 日本人女性の乳癌検診受診行動の促進要因と阻害要因の検討 日乳癌検診学会誌(J. Jpn. Assoc. Breast Cancer Screen.) 2006 15(1):69-74

③ 今後、第 15 回日本乳癌学会 (2007 年開催) に演題提出を予定している。

添付資料

医療情報理解度に関わる質問項目 1-8

1. あなたがある病気の治療方法について、インターネットや書籍で調べるとき、以下のうちどれが一番信頼できると思いますか？一つ選んでください。

1) 20 年前に購入した有名教授が監修した家庭の医学書 2) 特定の商品の効果と入手方法を具体的に示した記述 3) 個人の闘病記録 4) 公的医療機関のホームページに記載されている解説 5) 分からない

2. 高血圧の治療薬の効果の根拠として、以下のどの点が最も重要だと思いますか？一つ選んでください。

1) 平均して血圧を 30 下げられる 2) 薬を服用しない場合に比べて心筋梗塞（しんきんこうそく）や脳卒中（のうそっちゅう）を 30% 予防できる 3) 動物実験で腎臓の障害が一番軽かった 4) MRI の脳の写真で脳梗塞（のうこうそく）の小さな影が少なかった 5) 分からない

3. あなたの知人は血液型に興味があります。そのため周囲の人に血液型を聞き、また大きな病気で入院した経験の有無を聞きました。入院したことがあると答えたのは、A 型では 10%、B 型では 20% でした。このようなときに、A 型は B 型より健康といえるのでしょうか？以下の中から最も適切な解釈を一つ選んでください。

1) この人達については、そのようにいえる 2) この A 型と B 型の人達のその他の特徴が似ていれば、そのようにいえる 3) AB 型や O 型も調べないと分からない 4) 血液型と性格との関係についても考えた方がよい。 5) 分からない

4. テレビ番組で、コレステロールが高い場合、薬でコレステロールを下げたほうがよいと議論していました。あなたが薬の効果に納得するとすれば、以下の中でどのような点が最も重要と考えますか？一つ選んでください。

1) 司会者と出演者の三人がこの薬を数年来服用しているが、三人とも元気だ 2) この薬を飲んだ人では、コレステロールが平均して 40 低くなったと解説していた 3) ゲストの医師が、この薬で血液が「さらさら」になると話していた 4) コレステロールの

高い人のうちで、薬をのむ人 1000 人、のまない人 1000 人のその後の経過をみると、のむ人で心筋梗塞の発症率が低かったという研究が紹介された 5) 分からない

5. A さんは、糖尿病と高血圧で治療中です。A さんの年齢では 5 年間で心筋梗塞になる可能性は 10% と考えられました。ここである治療をすると心筋梗塞をおこす可能性が 30% 低くなります。この治療後に心筋梗塞になる可能性はどれぐらいでしょうか？一つ選んでください。

1) 20% 2) 3% 3) 7% 4) 70% 5) 分からない

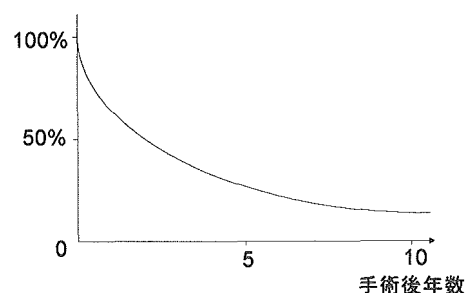
6. ある治療の説明を医師から受けたとき、副作用の発生率が 5% と聞きました。これはどういう意味でしょうか？一つ選んでください。

1) かなり多数の人に副作用がでる。 2) 同じ治療を受けた 100 人のうち、5 人にこのような副作用を生じる 3) 100 日間治療しているうちの 5 日間に副作用が生じる

4) 誰に副作用がでるか、事前に予想できる 5) 分からない

7. 次の図は、ある癌にかかって手術を受けた場合、その後再発なく元気で生活している割合を示しています。横軸が手術後の年数、縦軸が再発なく元気に生活している割合です。5 年後に再発がなく元気で生活している可能性は何% ですか。一つ選んでください。

再発のない割合

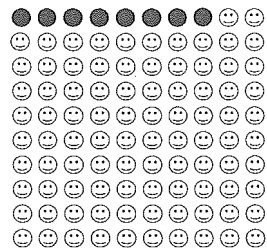


1) 約 2.5% 2) 約 10% 3) 約 25% 4) 約 50% 5) 分からない

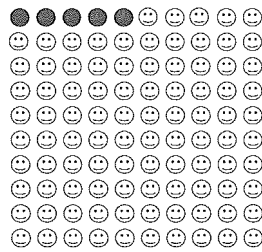
9. 下の図は、ご高齢の高血圧の方 100 人に薬を使った場合と、薬を使わなかった場合の 5 年間の心筋梗塞の発生を表したものです。病気になった人を濃い色、元気な人を薄い色であらわしています。薬によって心筋梗塞にならずにすむのは何人ですか？一

つ選んでください。

薬をつかわない場合



薬をつかった場合



1) 3人 2) 5人 3) 8人 4) 92人 5) 分からない

適切な利用消費活動に関わる質問項目 9・10

9. あなたは今までに健康によいといわれて商品を購入し、後悔したことがありますか、
1) 1回ある 2) 2回以上ある 3) 後悔したことはない 4) 購入したことがない

10. あなたが仮にダイエットに非常に興味があるとします。ある業者がダイエット枕の広告をしており、「ただ寝るだけの楽々ダイエットで夢の 20 キロ減」「やせた、眠れた、人生かわった」と称していました。値段が 7800 円とのことです。あなたは、どうしますか？一つ選んでください。

1) 購入する 2) 2-3 割値引きがあれば購入する 3) 友人知人に意見を聞き、勧められれば購入する 4) インターネットで検索し、購入者の意見も調べてから購入する 5) 少し考えてみる 6) 購入しない 7) その他

乳癌検診調査用紙

【乳癌検診調査票】

【最初に、あなたご自身とご家族についてお伺いします】

問1. あなたの性別は。

- | |
|----------------|
| 1. 男性
2. 女性 |
|----------------|

問2. あなたの年齢は。

才

問3. あなたは、ご結婚されていますか。

- | |
|----------------------------|
| 1. 未婚
2. 既婚
3. 死別・離別 |
|----------------------------|

問4. 現在、あなたには以下の続柄の人がおいでになりますか。同居の有無にかかわらずお聞かせください（該当するものすべて）。

- | |
|--|
| 1. 配偶者
2. 異性のパートナー・恋人
3. 母親(実母)
4. 姉妹（実の姉・妹）
5. 娘
6. <u>上記の続柄はいない</u> |
|--|

問5. あなたと同居されているご家族に、12歳以下のお子様はおいでになりますか。

- | |
|-----------------|
| 1. はい
2. いいえ |
|-----------------|

→問6へ

→問7へ

問6. そのお子様の育児を担当しているのは、どなたですか（該当するものすべて）。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. あなた本人
2. あなた以外の家族
3. その他 |
|-----------------------------------|

問 7. 現在、あなたのご家庭内に、介護を必要とされるご家族はおいでになりますか。

- | |
|--------|
| 1. はい |
| 2. いいえ |

→問 8 へ

→問 9 へ

問 8. その方の介護を担当しているのは、どなたですか（該当するものすべて）。

- | |
|-------------|
| 1. あなた本人 |
| 2. あなた以外の家族 |
| 3. その他 |

問 9. あなたのお仕事は。

- | |
|----------------------|
| 1. 正社員、役員、派遣社員、フルタイム |
| 2. 自由業、自営業、自営手伝い |
| 3. パート、アルバイト、フリーター |
| 4. 学生 |
| 5. 専業主婦・主夫 |
| 6. 無職 |
| 7. その他 |

問 10. あなたの最終学歴をお聞かせください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 小中学校（旧制尋常小学校、旧制高等小学校を含む） |
| 2. 高等学校（旧制中学校・高等女学校、旧制実業学校、旧制師範学校を含む） |
| 3. 専修学校、専門学校、各種学校等 |
| 4. 短期大学（高専を含む） |
| 5. 大学（旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校を含む） |
| 6. 大学院 |
| 7. その他 |

【ここからは、「乳がん」に関する知識について、お伺いいたします】

問 1 1. 以下の内容についてどの程度ご存知か、お聞かせください。

		知って いる	まあ知 っている	あまり 知らない	知らな い
1	乳がん検診が、どこで実施されているかを、	1	2	3	4
2	乳がん検診が、いつ実施されているかを、	1	2	3	4
3	乳がん検診は、何歳から受診できるかを、	1	2	3	4
4	乳がんの発病が多い年代が、どの年代かを、	1	2	3	4
5	乳がんの発病に関係する危険因子について、	1	2	3	4
		知って いる	まあ知 っている	あまり 知らない	知らな い
6	乳がんの自己触診法について、	1	2	3	4
7	乳がんの発病率について、	1	2	3	4
8	乳がんの治療費について	1	2	3	4
9	乳がんの死亡率について	1	2	3	4

問 1 2. あなたのご家族で、現在「乳がん」にかかっている方はおいでになりますか。(機微情報のため未回答を許可。注記「答えたくない場合には、回答されなくても先に進むことができます」)

1. はい 2. いいえ

問 1 3. あなたのご家族で、現在「乳がん以外のがん」にかかっている方はおいでになりますか。(機微情報のため未回答を許可。注記「答えたくない場合には、回答されなくても先に進むことができます」)

1. はい 2. いいえ

問 1 4. あなたは、これまでに「がん検診」を受診したことがありますか。(男性のみ)

1. はい 2. いいえ

問 15. あなたご自身は、現在「医療保険」に加入していますか。

- | |
|--------|
| 1. はい |
| 2. いいえ |

問 16. あなたは、継続して医療機関に受診している病気がありますか。

- | |
|--------|
| 1. はい |
| 2. いいえ |

(以下、問 17～問 22までは、男性のみ回答)

問 17. あなたの、以下の続柄の人は「乳がん検診」を受診していますか。

		毎年受診 している	2年に一度 くらい受診 している	受診してい るが、時期 や回数は 分からない	受診してい ない	知らない・ 分からない
1	配偶者	1	2	3	4	5
2	異性のパートナー・恋人	1	2	3	4	5
3	母親（実母）	1	2	3	4	5

問 18. あなたは、以下の続柄の人に「乳がん検診」の受診を勧めていますか。

		強く勧めて いる	時折、勧め ている	ほとんど勧 めていない	全く勧めて いない
1	配偶者	1	2	3	4
2	異性のパートナー・恋人	1	2	3	4
3	母親（実母）	1	2	3	4

問 19. あなたがその続柄の人に「乳がん検診」の受診を勧める理由をお聞かせください。(該当するものすべて)

(問 18 で「1.強く勧めている」「2.時折勧めている」に回答した場合のみ)

1. その人の健康が大切だから
2. 乳がんが怖いから
3. 検診は受診した方がよいから
4. 乳がんは早期発見が大切だから
5. 家族・知人に乳がんにかかった人がいるから
6. 自分が別の癌にかかったから
7. 自分が別の病気で治療中だから
8. その他（具体的に)

問 20. あなたがその続柄の人に「乳がん検診」の受診を勧めていない理由をお聞かせください(該当するものすべて)。

(問 18 で「3.ほとんど勧めていない」「4.全く勧めていない」に回答した場合のみ)

1. その人の健康に興味が無いから
2. 本人の健康管理を本人自身に任せているから
3. 乳がん検診の有効性を信じていないから
4. その人は元来、健康だから
5. 検診を受診すると、自分の仕事や、家庭内の育児・介護に支障が出るから
6. 日常生活が多忙で、乳がん検診に注意を払う時間がないから
7. 今現在は、その人に症状や疑いがないから
8. 何か症状や疑いがあれば、早めの受診を勧めるつもりだから
9. 費用がかかるから
10. 乳がん検診をその人に勧めるのが恥ずかしいから
11. その人が乳房の診察を受けることが嫌だから
12. 乳がん検診を勧めるということを、考えたこともなかったから
13. その他（具体的に)

問 2 1. 乳がんの発病率がどの程度ならば、その続柄の方に乳がん検診の受診を勧めますか。

(問 1 8 で「3.ほとんど勧めていない」「4.全く勧めていない」に回答した場合のみ)

1. 500 人に 1 人以上の発病確率 (0.2 %以上) なら勧める
2. 100 人に 1 人以上の発病確率 (1 %以上) なら勧める
3. 50 人に 1 人以上の発病確率 (2 %以上) なら勧める
4. 25 人に 1 人以上の発病確率 (4 %以上) なら勧める
5. 10 人に 1 人以上の発病確率 (10 %以上) なら勧める
6. 5 人に 1 人以上の発病確率 (20 %以上) なら勧める
7. 2 人に 1 人以上の発病確率 (50 %以上) なら勧める
8. 発病率に関係なく勧めない
9. 分からない

問 2 2. 乳がん検診について、ご意見があればお聞かせください。

(男性の調査終了)

(以下、問23～問29までは、女性のみ回答)

問23.あなたは、今までに「乳がん検診」を受診したことがありますか。

1. 受診したことは一度も無い
2. 受診したことはあるが、最近2年間は受診していない
3. 2年以内に受診したが、毎年の受診はしていない
4. 毎年受診している、あるいは1年以内に受診した

問24.あなたは、今までに「乳がん検診以外の検診（市民検診、がん検診、人間ドックなど）」を受診したことがありますか。

1. 受診したことは一度も無い
2. 受診したことはあるが、最近2年間は受診していない
3. 2年以内に受診したが、毎年の受診はしていない
4. 毎年受診している、あるいは1年以内に受診した

(問23で「1.受診したことは一度もない」「2.受診したことはあるが、最近2年間は受診していない」と回答した場合にのみ)

問25.あなたが「乳がん検診」を受診しない理由について、以下の項目は、どの程度あてはまりますか(答えたくない質問については、「どちらともいえない」をお選びください)。

		あてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	検診がいつ、どこで行われているか知らないから	1	2	3	4	5
2	受診をするための手続きがわからないから	1	2	3	4	5
3	元来、健康だから	1	2	3	4	5
4	自分が乳がんにかかるとは思わないから	1	2	3	4	5
		あてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	あてはまらない
5	家族に乳がんにかかった人がいないから	1	2	3	4	5
6	現在、特に乳がんあるいは乳房の症状が無いから	1	2	3	4	5
7	現在、体の調子が悪いところが無いから	1	2	3	4	5
8	現在、他の病気(乳がんを含む)で医療機関を受診中だから	1	2	3	4	5

(改ページ)

		あてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	あてはまらない
9	乳がんという病気をよく知らないから	1	2	3	4	5
10	乳がんの発病確率を知らないから	1	2	3	4	5
11	乳がんの発病はどの年代で多いか、を知らないから	1	2	3	4	5
12	私には乳がんの危険因子が低いと思っているから	1	2	3	4	5
		あてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	あてはまらない
13	身体に異常があれば、すぐに医療機関を受診できるから	1	2	3	4	5
14	仕事が多忙で受診の時間がとれないから	1	2	3	4	5
15	育児が多忙で受診の時間がとれないから	1	2	3	4	5
16	介護が多忙で受診の時間がとれないから	1	2	3	4	5

(改ページ)

		あてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	あてはまらない
17	仕事が多忙で、検診で異常を指摘されても検査や治療の時間が取れないから	1	2	3	4	5
18	育児・介護が多忙で、検診で異常を指摘されても検査や治療の時間が取れないから	1	2	3	4	5
19	乳がん検診で、乳がんが見つかる怖いから	1	2	3	4	5
20	乳がん検診で、どのような検査をするのかわからないから	1	2	3	4	5
		あてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	あてはまらない
21	触診が嫌だから	1	2	3	4	5
22	男性医師や技師が検診を担当するのが嫌だから	1	2	3	4	5
23	超音波検査が嫌だから	1	2	3	4	5
24	マンモグラフィー検査が嫌だから	1	2	3	4	5

(改ページ)

		あてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	あてはまらない
25	過去に乳がん検診で嫌な思いをしたから	1	2	3	4	5
26	乳がん検診が有用だと考えていないから	1	2	3	4	5
27	費用がかかるから	1	2	3	4	5
28	受診が面倒だから	1	2	3	4	5